

共同声明

第 15 回 日中韓三国保健大臣会合（THMM）

2022 年 12 月 16 日（テレビ会議）

我々、大韓民国、中華人民共和国、日本の保健大臣は、2022 年 12 月 16 日、第 15 回日中韓三国保健大臣会合（THMM）をテレビ会議を通じて開催した。

我々は、三国に最も共通する公衆衛生課題の一つである新型コロナウイルス感染症のパンデミックに対処するための我々の努力の全てを認識し、第 13 回及び 14 回三国保健大臣会合（テレビ会議）において約束した、パンデミックや共通に懸念される重要かつ潜在的な感染症に対する予防・備え・対応において緊密に協力し、関連情報、知識及び経験を共有することについて再確認した。本会議の議題は、パンデミックへの予防・備え・対応（PPR）、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）、健康的な高齢化における協力であった。

1. 世界的な健康安全保障の向上；パンデミック PPR における協力

三国が地理的に近く、国際的な渡航や移動の頻度が高いことを考慮し、新型コロナウイルス感染症などの感染症に対するパンデミック PPR を強化するための地域および世界における協力、そして世界的な健康安全保障の重要性を再認識した。

「共通の課題であるパンデミック及び重大な影響が考えられる 感染症対策における、日本：厚生労働省、大韓民国：保健福祉部、中華人民共和国：国家卫生健康委員会、三カ国共同行動計画」（以下「共同行動計画」）に基づき、各国の公衆衛生を効果的に保護するだけでなく、世界の健康安全保障向上に寄与するために三国で協力してきた。同様に、我々は、新型コロナウイルス感染症のパンデミックを共に克服するための継続的な協力、及び将来のパンデミック及び疫病の脅威のリスクと影響を低減するための一致した努力と行動の重要性を認識した。

また、アジア太平洋地域の健康安全保障を強化するため、パンデミック時に必要な医療資源を迅速に動員することの重要性を再認識した。我々は、国際機関や関連基金を通じた世界的な取り組みと連携し、ワクチン、治療薬、診断薬等のパンデミック対策への公平なアクセス改善とともに医療従事者の育成と保護のために協力する決意を表明した。

さらに、我々は、パンデミックに関する世界的なサーベイランス強化のための協力を再確認した。我々は、世界的な公衆衛生上の緊急事態の可能性を有する人獣共通感染症及びそのパンデミックを予防し、抑制するための優れた手段である、ワンヘルス・アプローチを促進するための協力的議論及び方策の重要性を強調する。ワンヘルス・アプローチに関して、我々はすでに薬剤耐性（AMR）を健康上の脅威として認識している。従って、我々は、ヒト、動物及び環境の健康増進を確保するために、ワンヘルス・アプローチと統合した国家戦略及び地域戦略について三国で議論することを提案する。

2. ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）

ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の達成は、持続可能な開発の基本であり、健康に関するあらゆる課題をつなぐ中核的な原則である。これにより、世界の保健医療システムは様々な環境変化に先手を打って対応し、誰もが基本的な医療を受けられるようになり、緊急事態による影響を軽減することが可能になる。UHCへの投資は、将来起こりうる健康上の緊急事態への予防・備え・対応に大きく貢献するため、その重要な価値を示し、認識を高めることが不可欠である。新型コロナウイルス感染症によるパンデミックを経験した我々は、強靱な保健医療システムの重要性を再確認し、UHCの強化に向けた協力の必要性を確認した。我々三国は、UHC達成のための様々な課題によりよく備えるために、経験と専門知識の共有を継続し、協力を強化していく。

人口動態の変化や医療技術の発展により、保健医療サービスに対する社会的需要が高まる中、国民の健康増進のためにデジタルヘルス技術を活用することの重要性を再認識した。我々はデジタルヘルス技術について、保健医療サービスの開発だけでなく、個人のニーズに合わせた保健医療サービスへのアクセスを向上させるためにも活用することを推奨する。我々は、このような経験を積み重ね、デジタルヘルスを活用しながら、世界的なUHCの実現に向けて継続的に取り組んでいく。デジタルヘルス政策の実施により、保健医療サービスへのアクセスを向上させ、高齢化などの社会的課題に対応しながら、患者の健康増進に貢献できるよう、経験を共有し、協力していく。

UHC達成に必要な知識と専門性に基づき、三国は協力し、日中韓協力事務局（TCS）及びWHO西太平洋地域事務所（WRPO）と緊密に連携していく。我々は、人材育成や、好事例及びモデルの共有を行うことで、この地域に強靱な保健医療システムを確立するための努力を惜しまない。近年の世界的な公衆衛生上の緊急事態は、脆弱な人々にも配

慮した包括的な保健医療サービスの重要性が増していることを示している。このことを認識し、我々は、三国間及び ASEAN 加盟国を含むアジア太平洋諸国における持続可能な UHC の実現に向け、協力していく。

3. 健康的な高齢化

我々は、三国のニーズを満たすように、健康的な高齢化、アクティブな高齢化社会、非感染性疾患（NCDs）の予防及び管理の実現のための協力を推進する。

WHO は、健康的な高齢化を「高齢期におけるウェルビーイングを可能にする機能的能力の開発・維持のプロセス」と定義している。我々は、健康的な高齢化の実現には、予防的アプローチと統合された医療・介護システムの構築が必要であることを認識した。我々は、個人の健康及び社会的ケアのニーズを考慮したサービス提供の重要性を強調し、プライマリー（予防的）ケア、専門的治療、コミュニティケアを含む統合的な健康及び社会的ケアモデルの構築に向けて協力する。

エイジング・イン・プレイス（AIP）は、急速な高齢化が進む社会において、健康的な高齢化を実現するために取り組むべき重要な政策方針の一つである。我々は、高齢者が自身の家で住み慣れた身近な環境で生活することにより、自立性を十分に発揮し、機能的な能力を維持することができることを認識した。我々は、地域中心の医療・介護インフラを強化し、複雑なケアを提供し、高齢者のニーズに応えるための社会的ケアシステムを確立するために協力する。

また、超高齢社会に備え、がん、糖尿病、循環器疾患、慢性呼吸器疾患などの NCDs の予防と対応に協力することを約束した。国際社会は、新型コロナウイルス感染症のパンデミック対応に注力する一方で、NCDs の対応への関心や投資が低下してしまった。我々三国は、政策や経験を共有しながら、NCDs の予防及び管理において協力を続けていく。

4. 次回の会議

我々は、日中韓三国保健大臣会合が、日中韓協力事務局（TCS）の協力により定期的に行われ、関連するすべての活動が公平で、相互主義、相互利益に基づいて行われるという共通の認識を再確認した。

次回の日中韓三国保健大臣会合は、2023 年に中国で開催される予定である。